

# 令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立城北小学校）

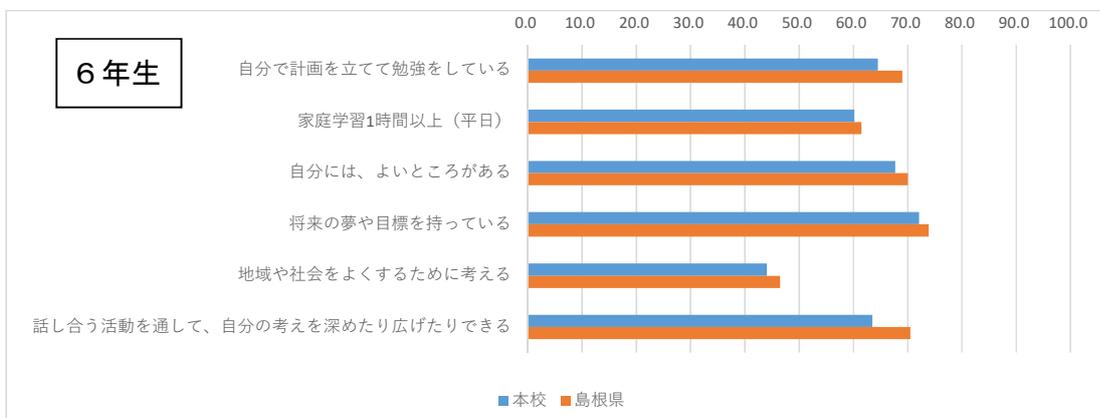
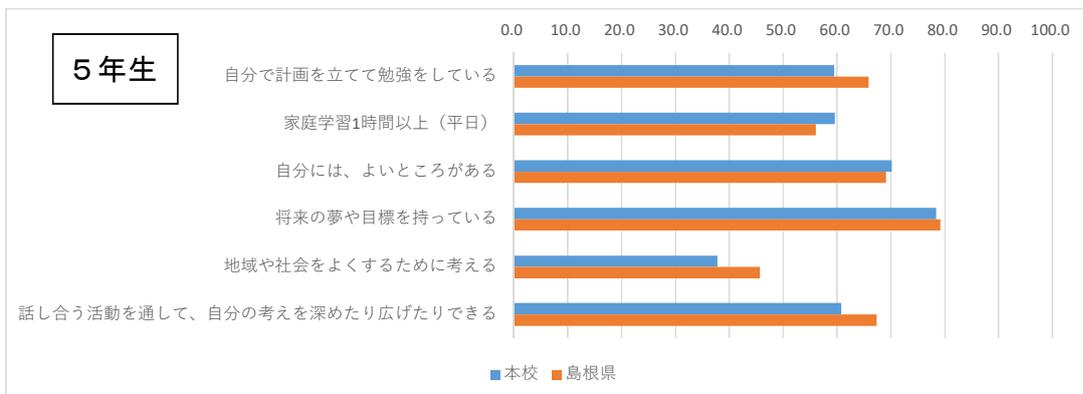
## (1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の基礎的な学力は定着している。</li> <li>○「読むこと」の領域においては目標値を上回っている。</li> <li>●文脈を踏まえて漢字を活用する力に課題がある。</li> <li>●「書くこと」の領域が全国平均を下回っている。記述式の問題の理解に課題がある。</li> <li>●領域を問わず、活用区分が全国平均を大きく下回っている。活用力を付ける必要がある。</li> </ul>	6年国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体の平均正答率は県や市を上回っている。</li> <li>○基礎区分が全国・県・市すべてを上回っている。言葉や漢字の基礎的な学力は定着している。</li> <li>●活用区分が全国平均を大きく下回っているため、活用力を付ける必要がある。</li> <li>●「書くこと」の領域が全国平均を12.2下回っている。無回答が20%いることや、途中で終わっているような回答が多いことから、考えを条件に合わせて書く学習を積む必要がある。</li> </ul>
5年算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正答率の分布では、正答率60～70%の児童が多い。</li> <li>○数と計算、分数について基礎的な知識・技能は定着している。</li> <li>●正答率の分布で正答率30%の児童も多い。児童の実態に応じて、個別の対応等工夫していく必要がある。</li> <li>●図や表、データを活用したり、文章を読み取ったりして、解答を導くことが難しい。</li> <li>●合同及び平均についての理解に課題がある。</li> </ul>	6年算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な知識や技能は、身に付けている。</li> <li>○図形領域については、正答率が高い。</li> <li>●変化と関係領域「比」についての理解が十分ではない。</li> <li>●思考の過程や結果などを、根拠となる事柄（除法の性質や計算のきまり等）をもとに説明することが難しい。</li> </ul>

## (2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習に取り組む時間は県平均より長い。</li> <li>○「ニュースに関心がある」や「辞書を引く機会が多い」など、学びに向かう姿が見られる。</li> <li>●自分で計画を立てて勉強することは、県平均と比べると低い。</li> <li>●学んだことや考えたことを、話し合いや暮らしに生かしている意識が低い。</li> </ul>	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣が身に付いている。</li> <li>○決められた家庭学習は、きちんと取り組んでいる。</li> <li>●自分で計画を立てて勉強することは、県平均と比べると低い。</li> <li>●話し合いで自分の考えを積極的に話そうとする意識が低い。</li> </ul>
----	---	----	---

## (3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 74名 6年生 93名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。